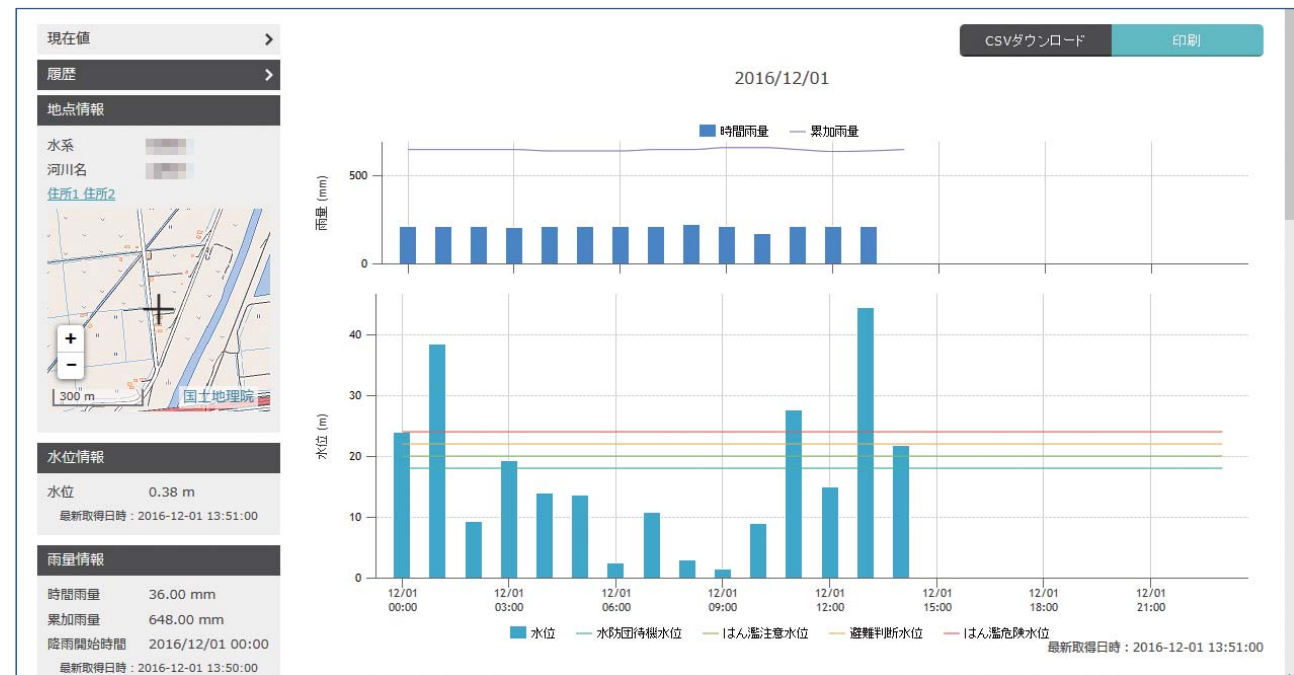
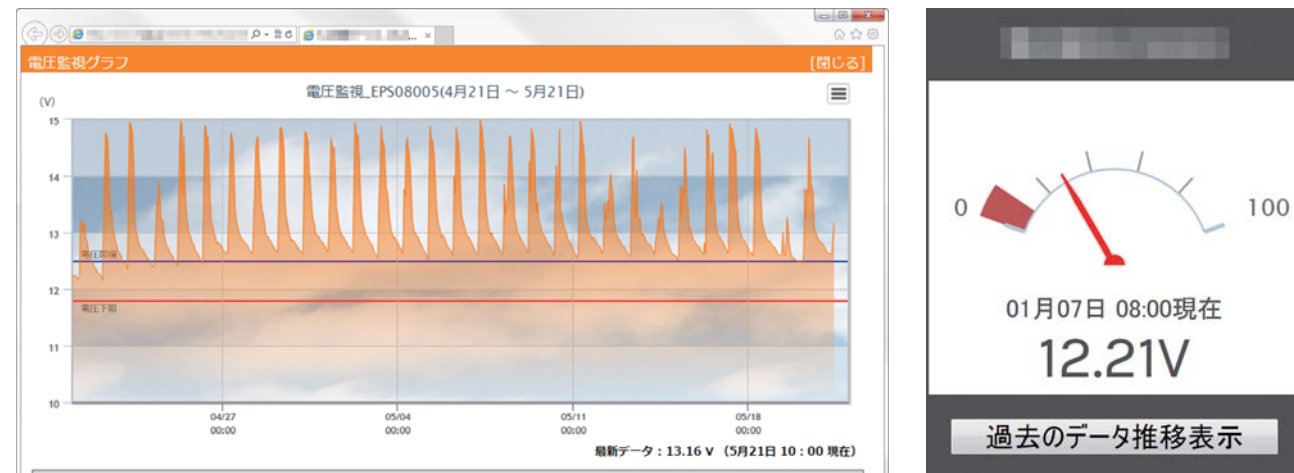


# 水位観測の実績



国土交通省管轄の河川で多数の水位観測実績を誇ります。

# 連続観測時間の実績



一定以上の電圧を保持し、連続的に観測できている様子うかがえます。スマートフォン等でも現在の電圧状況を確認することができ、不測の事態に備えることができます。

# 価格表

発注ロット	自律型水位計	制御型水位計	ランニング
1台～	95万円	95万円	5,000円/台・月
10台～	90万円	90万円	5,000円/台・月
100台～	85万円	85万円	5,000円/台・月

※ 設置工事費、送料等は別途、表示価格はすべて税別  
※ カメラは10分ごとの定点画像撮影、制御型は+リアルタイム動画

# オプション

暗視ネットワークカメラ	
機器	35万～65万円
ランニング	13,000円/台・月～
小型燃料電池	
機器	180万円

命を守る、IoT。



国土交通省「危機管理型水位計」準拠

# IoTクラウド水位観測システム

## 圧力式水位計を採用

比較的安価で計測性能の安定性も高い「半導体圧力検出方式(静電容量式)」の計測センサー標準仕様とし、最大20mまでの測定範囲に対応。洪水時のみ水位を観測する危機管理型水位計としての利用はもちろん、常設型の水位計や、緊急対応時に設置する仮設型の水位計としてもご利用可能。

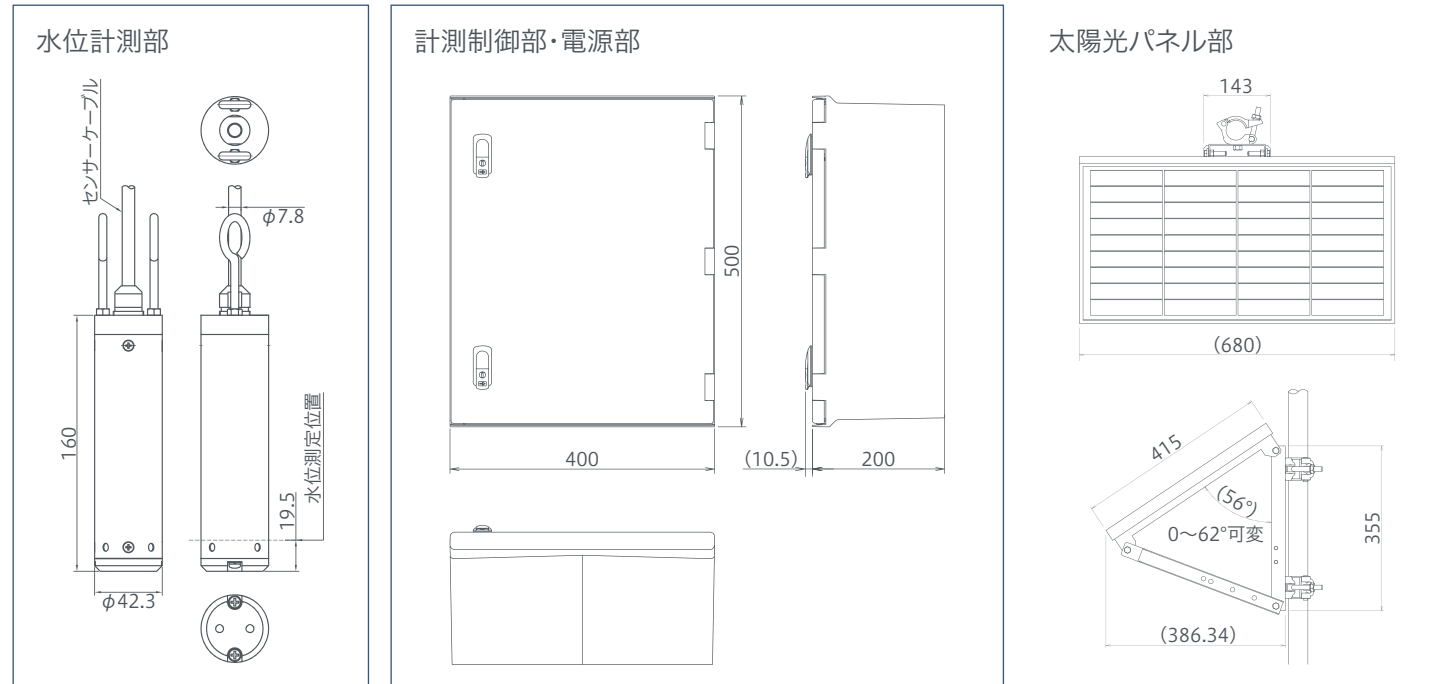
## 「自律型」「制御型」双方に対応

危機管理型水位計の仕様に準拠した、システムによる常時監視で洪水時に自動的に観測モードに移行する「自律型」の制御方式のほか、比較的省電力性の高い「制御型」の制御方式にも対応。運用開始後も切り替え可能。

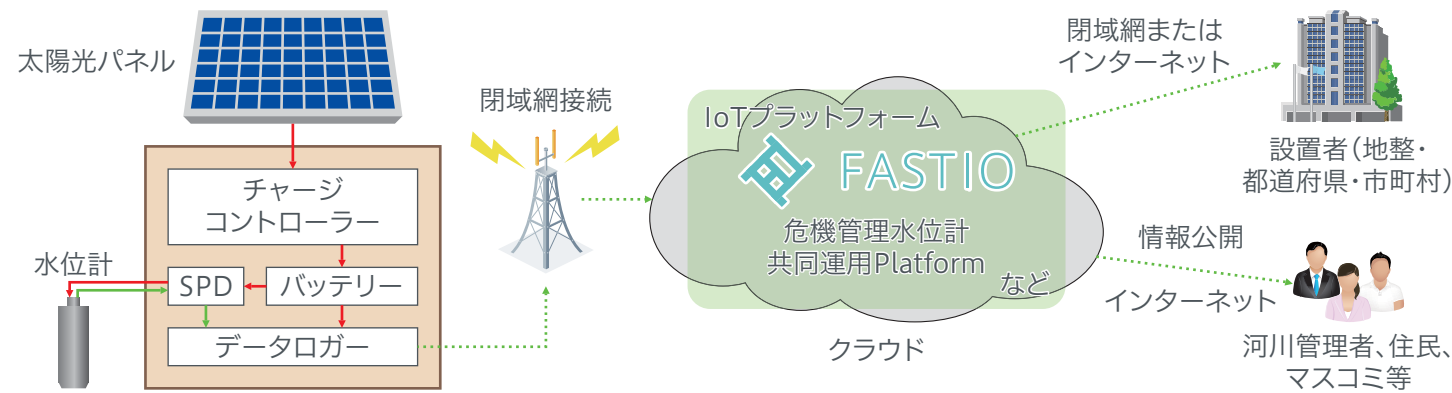
## 豊富な追加オプション

水位計を用いて水位観測をする標準仕様のほか、現地の様子を10分ごとの定点画像撮影で把握することができる暗視ネットワークカメラや、より安定的に電源(発電性能)を確保するための小型燃料電池なども任意のオプションとして追加可能。

## 図面



## システム構成図



## 現場設置例



## 機器仕様一覧

仕様項目	仕様
<b>共通</b>	
温度・湿度条件	-20~50°C 20~90%RH (結露しないこと)
避雷対応	対応
防水・防塵対策	IP55相当
耐用年数	5年
<b>水位計測部</b>	
計測部機器型番	CPS-20-A
計測範囲	0~20m
最小読取単位	0.01m (1cm)
観測精度	±0.1%FS
ケーブル長	30m (100mまで延長可)
<b>計測制御部</b>	
データロガー機能	測定時刻、水位、電源電圧 内部メモリに記録/外部データベースに伝送
時刻補正機能	NTP補正
アナログ入力	絶縁型アナログ入力ポート×4 電圧/電流モード切り替え
分解能	16bit
デジタル入力	接点入力×8 (電圧接点入力/無電圧接点入力、フォトカプラー絶縁)
リレー出力	フォトMOSリレー出力×4
SDカードスロット	SDHC対応SDカード1スロット
<b>電源部</b>	
電源仕様	リチウム二次電池
バッテリー容量	30Ah
太陽光パネル容量	30W
無日照保証日数	9日間
<b>収納ボックス</b>	
材料	PC+ABS樹脂
収納機器	計測制御装置、通信装置、電源装置
構造・形状	W400×D200×H500
保護等級	IP55
<b>初期設置</b>	
機器設置時の設定	測定開始時間、計測基準点 (0m)
<b>機器重量</b>	
水位計測部	1kg以下 (ケーブル除く)
計測制御部・電源部	15kg以下 (取付金具等除く)
太陽光パネル部	約3.5kg